

児童生徒による「わたしの学校・地域」紹介 CM 製作プロジェクト

—大子町からの発信—



人間系 准教授 上田 孝典
 人間系 特任助教 池谷美衣子
 人間総合科学研究科 教育学専攻一年 橋田 慈子
 人間学群 教育学類四年 近藤 雄介ほか

茨城県大子町は、少子化により学校統廃合が進められている。こうした背景のなかで、地域密着型の少人数教育をより豊かにする事業を、町の小規模校や教育委員会と連携して進めてきた。本プロジェクトでは、筑波大生と大子町の小中学生が協働で地域や学校を題材にした映像 CM を製作する。製作プロセスの中で、子どもたちが自らの暮らす地域を振り返り、その魅力に気づくことをねらいとする。

#さはらの CM をつくろう！

実施期間：2013年7月25日、26日、29日

参加人数：児童・教員・保護者 約20名 学生・教員 8名

全校生徒 50名弱の小規模校であるさはら小学校で、地域や学校の魅力を PR する CM を製作しました。色鉛筆をつかってカラフルな絵コンテに仕上げたり、小学生らしい発想が多々見られました。小学校の先生方からは「今回参加した誰もが、楽しみながら自分たちでアイデアを出し合い、練り上げ、撮影や編集を協力して行うなどして、とても晴らしい作品ができました」との感想をいただきました。

#みんなの楽校プロジェクト

実施期間：2014年2月1,2日、8,9日、16日、3月1,2日

参加人数：学生・教員 9名 中学生約10名・地域住民多数

本プロジェクトは2001年に廃校になった上岡小学校を会場に町内全中学校からの希望者で実施。廃校の利活用方策の一つとして大子町の学校をテーマにした映像製作事業「ショートフィルムを作ろう」とマンツーマンでの学習支援事業「寺子屋楽校」の2本立て企画。学生は勉強だけでなく、生徒たちから進路や生活面でのアドバイスにも応じ、相互の交流から距離が縮まった。

〈感想〉勉強の事をとて分かりやすく教えてくれて分からなかったところも分かりけっこう楽しかったです。(中1男子)

楽校 = 創造する場所

中学生の感性で、ショートフィルムを制作します！



大学生：
フィルムを通して伝えたいこと、
参加者：
「本当の気持ちは、なかなか
わかってもらえない」かな！？
大学生：青春っほいね～！！！！

【参加者の感想】
初めて撮影したけれど、
思った以上にもの凄く楽しかった！！
早く続きがやりたい。
演技したい！がんばりたい！
最高の作品にしたい！(中1女子)



上映会の様子 2014年3月2日



教室が埋まるほどの大盛況！
大子町の教育ポータルサイトに載せていただきました！



感想#地域の方 今回の体験は地域の方々、親御さん、大学生それぞれ大きくいえば人生の歴史のなかでいい1ページが築けたのではないかな。私も地域の一員として触れ合いの中に入れて幸せだった。大学生・中学生のこれからに大いに期待するものです。
感想#保護者の方 子供達ならではの面白さがありました。本人の楽しんでいるのが感じられました。次の機会を楽しみにしています。

↑「ショートフィルムを作ろう」の様子